

東京大学履修証明プログラム 多職種・地域連携 支援者育成

受講生募集 2024.1.5締切

- ☑ 多様な分野・職種の人と学べます
- ☑ 履修証明書が授与されます*要件有
- ☑ 3つの基本素養を軸に学びます
 1. Trauma-Informed care
トラウマを熟知して支援できる
 2. Co-Production
当事者と共同創造できる
 3. Organizational Change
これらの実現のため組織文化を変革
頭文字から「TICPOC 教育プログラム」と呼んでいます

TICPOC



C-1コース 心理支援職

医療をはじめとする様々な領域で心理支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が主な対象です。

看護、精神保健福祉、作業療法、薬剤、栄養、学校教育など多様な職域の社会人で、個人の心理・行動のアセスメントに基づく支援力向上を目指す方等も対象に含みます。

開催形式

基本的に全日程、東京大学（本郷）構内で行う。

※東大本郷キャンパス（文京区本郷7-3-1）

※対面とオンラインのハイブリット対応や録画配信は無し

受講期間

2024年4月～2025年3月

応募資格

(1)(2)双方を満たす方

- (1) 4年制大学卒業業者、または大学卒業業者と同等以上の学力を有すると認められた22歳以上の方
- (2) 医療、学校、行政(保健・福祉)等の領域で対人支援職を目指す方。又は、既に対人支援に従事しており、さらに高度な知識・技術を身につけようとする方

募集人員

職域架橋型コース（C-1）40名、地域連携型コース（C-2）60名

※C-1とC-2の両方のコースの申込みも可能です。

C-2コース （地域）対人支援職

行政、社会福祉、学校教育、NPO法人等で対人支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が主な対象です。

医療職等で地域との連携について学びたい方、心理職等個人の支援にあたる方で社会的支援の視座を深めたい方等も対象に含みます。

出願期間

2023年11月20日～2024年**1月5日（消印有効）**

（書類選考・必要に応じてオンライン面接）

出願先

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学 CRC A棟1F 精神神経科 TICPOC事務局

出願書類

履歴書・エントリーシート・志願理由書・応募資格を証明する書類等
詳細：<https://co-production-training.net/application-c/>

選考発表及び受講手続き

令和6年（2024年）1月31日（郵送又は電子メールにて通知する。）
受講を認められた方には関係書類を送付する。

受講料

各コース1年間 9万円（学生は5万円）

※他コースの受講者が本コースの講義を単回受講する場合は、
1.5万円/日（学生は0.8万円/日）の受講料となる。

※C-1・C-2両コース受講の場合1年間15万円（学生:8万円）



問い合わせ先

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 CRC A棟 1階 精神神経科 TICPOC事務局

E-mail: utokyo.coproduction.training@gmail.com URL: <https://co-production-training.net/>

2024年度プログラム

- 時間 9:00-18:00 オリエンテーションや振り返りを含みます。(コアタイム 10:00～16:45。初回 4/21 の時間は別途お知らせします。) ※他に外部実習あり、詳細は講義初日にご説明します。
- 形式 基本的に全日程、東京大学(本郷)構内で行います。東大本郷キャンパス(文京区本郷 7-3-1) ※対面とオンラインのハイブリッド対応や録画配信はありません。
- 司会 東京大学医学部附属病院 精神神経科 笠井清登・熊倉陽介・金原明子、東京武蔵野病院 高橋優輔・栃木県立岡本台病院 田尻智哉 他
- その他 講師、講義タイトル、内容は変更となる可能性があります。

C-1 職域架橋型コース

5/26(日)	午前	患者・家族の言葉からみえてくるがん療養生活	赤穂理絵	東京女子医科大学神経精神科准教授
	午後	総合病院の心理臨床と支援者支援	舘野由美子 千葉ちよ	国家公務員共済組合連合会虎の門病院 心理部室長 臨床心理士/公認心理師 東京医療センター精神科 臨床心理士/公認心理師
10/20(日)	午前	複雑なトラウマを抱える人の支援と回復	野坂祐子	大阪大学大学院 人間科学研究科教授
	午後	見えない心を可視化する ー心理アセスメントによるケース理解ー	中村紀子	中村心理療法研究室 治療的アセスメント・ アジアパシフィックセンター臨床心理士
12/15(日)	午前	精神分析	池田暁史	大正大学心理社会学部教授
	午後	困難事例に精神分析的視点を活用するには	若佐美奈子	神戸女学院大学心理学部准教授
2025年 2/16(日)	午前	22q11.2欠失症候群 -重複する障害を抱えた子どもとその家族の生活-	「22 HEART CLUB～ 22q11.2欠失症候群の 子どもとその親が集う サークル」会員	22 HEART CLUB
	午後	当事者としての治療者の強さと弱さ	富樫公一	甲南大学文学部教授

C-2 地域連携型コース

6/16(日)	午前	被害者支援～TICに基づく支援と支援者支援～	鶴田信子	被害者支援都民センター心理相談担当責任者
	午後	薬物依存症をもつ人を地域で支える	松本俊彦	国立精神・神経医療研究センター部長
9/8(日)	午前	ピアサポートワーカーとコ・プロダクション	宮本有紀 里村嘉弘 佐々木理恵	東京大学大学院医学系研究科准教授 東京大学医学のダイバーシティ教育研究センター准教授 東京大学医学のダイバーシティ教育研究センター 学術専門職員・ピアサポートワーカー
	午後	東日本大震災被災地におけるメンタルヘルス対策	大塚耕太郎	岩手医科大学医学部神経精神科学講座教授
2025年 1/26(日)	午前	臨床心理学の社会的転回	東畑開人	白金高輪カウンセリングルーム 主宰・臨床心理士
	午後	当事者と専門職による協働する 研究・支援の先に見えたもの	山口創生 山田悠平	国立精神・神経医療研究センター室長 精神障害当事者会ポルケ代表理事
2025年 3/2(日)	午前	地域における退院支援・若者支援の実践と人材育成	田尾有樹子	社会福祉法人巣立ち会理事長
	午後	精神障害にも対応した地域包括ケアと権利擁護	藤井千代	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部長

C-1・C-2 合同講義

4/21(日)	午前	当事者研究	熊谷晋一郎 綾屋紗月 上岡陽江	東京大学先端科学技術研究センター准教授 東京大学先端科学技術研究センター特任准教授 ダルク女性ハウス代表
	午後	多職種協働における折衷主義から多元主義へ Values-based practice ー価値観の多様性に向きあう実践医療倫理ー	村井俊哉 榊原英輔	京都大学大学院医学研究科教授 東京大学医学部附属病院講師
10/6(日)	午前	トラウマインフォームドケアと トラウマ焦点化治療	亀岡智美	兵庫県こころのケアセンター 副センター長兼研究部長
	午後	『責任、帰責性、「自己責任」』	國分功一郎 熊谷晋一郎	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部教授 東京大学先端科学技術研究センター准教授